

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

心筋アミロイドーシスにおける99mTcピロリン酸シンチグラフィ検査時間短縮の研究

2. 研究の対象患者

旭中央病院を受診した患者さんで、全身性トランスサイレチン型アミロイドーシス（ATTR）疑いで99mTcピロリン酸シンチグラフィを施行した患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし除外基準のいずれにも該当しない患者さん

・ 選択基準

- 1) ATTR疑いで99mTcピロリン酸シンチグラフィを施行した患者さん
- 2) 年齢が20歳以上80歳未満の患者さん
- 3) 性別不問

・ 除外基準

- 1) 何らかの理由で検査中の安静が保てず、体動が生じた患者さん
- 2) その他、研究責任（分担）者が研究対象者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2021年1月1日～2024年3月31日

4. 研究の概要

わが国におけるアミロイドーシスの有病率は100万人当たり約14人と推定され、発症率は100万人当たり約2.7人と推定されている。全身性アミロイドーシスのうち心臓に病変をきたす心アミロイドーシスは「全身性トランスサイレチン型アミロイドーシス（ATTR）」と「免疫グロブリン性アミロイドーシス（AL）」に分類される。ATTRの実患者数は、これまで報告されてきた患者数より圧倒的に多いことが指摘されている。「心アミロイドーシス診療ガイドライン」で非侵襲的なATTRの診断方法として推奨されている99mTcピロリン酸シンチグラフィについて、投与後1時間後と3時間後の2回の撮像が推奨されている。

そこで、本研究では99mTcピロリン酸シンチグラフィについて、当院で過去に行われた検査を後ろ向きに検討し、現状で推奨されている診断方法とは別の投与1時間後にSPECT/CT画像を利用した評価方法を検討し、検査時間の短縮の可否を検討する。

5. 研究実施予定期間

2023年5月17日～2024年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象背景〕：生年月日、年齢、性別、既往歴、最終観察日、観察項目、診断名、検査データ、読影レポート

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後ろ向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者（又は代諾者）個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書

及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

（連絡先）地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 放射線科 山口晃裕

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)